

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	登録番号	症例報告	演題名
3月3日(金)	14:50~15:28	第1会場	一般演題1	OA・偽関節	1-1-11	10061	○	距骨欠損のあるCharcot足関節に対して、同種骨、リング型創外固定器を用いて関節固定術を行った1例
3月3日(金)	11:15~12:00	第2会場	一般演題5	小児疾患	1-2-23	10063	○	新生児化膿性股関節炎後の遺残変形に対しbifocalに創外固定治療を施行した1例
3月4日(土)	10:30~10:58	第1会場	一般演題9	基礎	2-1-10	10064		ラット骨再建における凍結骨形成細胞シートの有用性
3月3日(金)	15:10~15:57	第2会場	一般演題6	骨折1(下腿)	1-2-34	10065		下肢骨折に対して急性期に行った一時的な創外固定の有用性
3月3日(金)	16:22~17:00	第2会場	一般演題8	骨折3(足部)	1-2-44	10066		踵骨骨折における待機的創外固定法と待機的シーネ固定法の比較
3月4日(土)	9:00~9:49	第2会場	コメディカルセッション	リハビリ・看護	2-2-06	10067		軟骨無形成症患者に対し下肢延長術を施行した患者の日常生活動作の拡大に向けた検討
3月4日(土)	10:30~10:58	第1会場	一般演題9	基礎	2-1-08	10068		下肢への皮弁術後に創外固定器での挙上安静(kickstand)を行った治療経験
3月3日(金)	16:22~17:00	第2会場	一般演題8	骨折3(足部)	1-2-45	10069	○	足部外傷に対しイリザロフ創外固定を用いた3例
3月3日(金)	9:50~10:30	第2会場	一般演題3	変形矯正1	1-2-13	10070		尺骨突き上げ症候群に対する創外固定器を利用した尺骨短縮骨切り術
3月3日(金)	15:30~17:00	第1会場	シンポジウム2	合併症に対する治療	1-1-18	10071		成長期膝周囲変形に対する創外固定法の利点・欠点―骨端軟骨発育抑制術との比較
3月4日(土)	10:30~12:00	第2会場	シンポジウム3	脆弱性骨折に対する創外固定	2-2-14	10072		足部、足関節部脆弱性骨折に対する創外固定の有用性
3月3日(金)	9:50~10:30	第2会場	一般演題3	変形矯正1	1-2-09	10073		Taylor Spatial Frameを利用した下腿骨focal dome osteotomyの手術適応と利点
3月3日(金)	9:50~10:30	第2会場	一般演題3	変形矯正1	1-2-10	10074		重度麻痺性尖足変形に対する創外固定装着下鏡視下足関節固定術の小経験
3月4日(土)	9:49~10:21	第2会場	一般演題10	高齢者骨折	2-2-09	10075		リウマチ後足部における創外固定併用手術の検討
3月3日(金)	14:50~15:28	第1会場	一般演題1	OA・偽関節	1-1-08	10076		鏡視下の処置とイリザロフ創外固定による距腿関節固定
3月4日(土)	15:40~16:25	第2会場	一般演題12	感染・合併症	2-2-32	10077		大腿骨骨幹部骨折に対し二期的髓内釘固定後の術後感染について
3月4日(土)	15:40~16:25	第2会場	一般演題12	感染・合併症	2-2-34	10078		上腕骨遠位端骨折内固定後感染症例に対するイリザロフ創外固定を用いたサルベージ手術
3月4日(土)	15:00~15:39	第2会場	一般演題11	骨折4(上肢)	2-2-29	10079		高度粉碎型の橈骨遠位端骨折に対するillizarov創外固定の有用性

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	登録番号	症例報告	演題名
3月3日(金)	15:57~16:22	第2会場	一般演題7	骨折2(Pilon骨折)	1-2-40	10080	○	脛腓関節に不安定性を伴った下腿遠位開放骨折の治療経験
3月3日(金)	14:50~15:28	第1会場	一般演題1	OA・偽関節	1-1-09	10081		リウマチ性足関節症に対するIlizarov創外固定器を用いた足関節固定術と鏡視下足関節固定術の比較検討
3月3日(金)	16:22~17:00	第2会場	一般演題8	骨折3(足部)	1-2-48	10082	○	創外固定を併用したChopart関節脱臼骨折の1例
3月3日(金)	9:00~9:44	第2会場	一般演題2	骨延長	1-2-05	10083	○	髄内釘併用下腿脚延長を行った1例
3月4日(土)	9:00~9:49	第2会場	コメディカルセッション	リハビリ・看護	2-2-03	10084		創外固定のケアの向上、後方支援施設との連携を目指して創外固定ケアセミナー「秋田県で広げよう創外固定の輪・和」開催報告
3月4日(土)	13:20~14:50	第2会場	パネルディスカッション2	骨延長術の限界と予後	2-2-19	10085		上肢に対する骨延長の限界と予後～特に手部での骨延長に関して～
3月3日(金)	9:00~9:44	第2会場	一般演題2	骨延長	1-2-06	10086	○	左前腕不全切断に対して橈尺骨固定術(One-bone forearm)後仮骨延長を施行した1例
3月4日(土)	15:40~16:25	第2会場	一般演題12	感染・合併症	2-2-31	10087		下肢骨髄炎に対するMasquelet法とBone Transport法の治療経験
3月4日(土)	9:00~9:49	第2会場	コメディカルセッション	リハビリ・看護	2-2-04	10088		イリザロフ創外固定患者が退院後に抱える生活上の問題点と退院支援への課題
3月3日(金)	13:40~15:00	第2会場	パネルディスカッション1	創外固定でなければならない治療	1-2-28	10089		Joint Distractionを併用した遠位脛骨斜め骨切り術
3月3日(金)	15:30~17:00	第1会場	シンポジウム2	合併症に対する治療	1-1-15	10090		変形を伴う大腿骨偽関節の治療:内固定を併用した粉碎術
3月4日(土)	9:00~9:49	第2会場	コメディカルセッション	リハビリ・看護	2-2-05	10091		単支柱型創外固定器を用いた大腿骨遠位延長後の膝関節可動域制限とADL・IADL経過及び理学的指導内容に関する一考察
3月3日(金)	9:00~9:44	第2会場	一般演題2	骨延長	1-2-07	10092	○	創外固定器からプレートへのコンバージョン手術の有効性
3月3日(金)	13:40~15:00	第2会場	パネルディスカッション1	創外固定でなければならない治療	1-2-29	10093		片側仮骨延長法を用いた脛骨骨切り術(Hemicallotasis)
3月3日(金)	13:40~15:00	第2会場	パネルディスカッション1	創外固定でなければならない治療	1-2-31	10094		多発外傷におけるIlizarov創外固定のあり方
3月4日(土)	15:00~15:39	第2会場	一般演題11	骨折4(上肢)	2-2-30	10095	○	内側側副靭帯損傷を伴う肘関節脱臼骨折に対するヒンジ付き創外固定器の使用経験

日程	時間	会場	セッション名	セッションテーマ	演題番号	登録番号	症例報告	演題名
3月3日(金)	10:30~11:06	第2会場	一般演題4	変形矯正2(症例)	1-2-19	10096	○	脛骨遠位を斜め骨切りし緩徐矯正を行い15年経過した症例に対する遠位脛骨斜め骨切り術DTooを行った変形性足関節症
3月4日(土)	9:00~9:49	第2会場	コメディカルセッション	リハビリ・看護	2-2-07	10097		初めて創外固定装着患者を看護する事になった病棟の設備の変更点とピンサイト感染管理について
3月3日(金)	9:00~10:40	第1会場	シンポジウム1	急性期外傷に対する創外固定	1-1-03	10098		急性期外傷に対する創外固定～脛骨遠位部骨折～
3月4日(土)	10:30~12:00	第2会場	シンポジウム3	脆弱性骨折に対する創外固定	2-2-15	10099		上肢骨折に対する創外固定術の臨床使用
3月3日(金)	9:00~10:40	第1会場	シンポジウム1	急性期外傷に対する創外固定	1-1-01	10100		上肢における急性期処置としての創外固定
3月3日(金)	9:00~10:40	第1会場	シンポジウム1	急性期外傷に対する創外固定	1-1-05	10101		骨盤における急性期処置としての創外固定 ー初期固定から骨癒合までー
3月3日(金)	9:00~10:40	第1会場	シンポジウム1	急性期外傷に対する創外固定	1-1-06	10102		重症多発外傷における創外固定
3月3日(金)	9:00~10:40	第1会場	シンポジウム1	急性期外傷に対する創外固定	1-1-07	10103		熊本地震における創外固定についての報告
3月3日(金)	15:30~17:00	第1会場	シンポジウム2	合併症に対する治療	1-1-16	10104		合併症に対する治療:手外科領域の創外固定使用において
3月4日(土)	10:30~12:00	第2会場	シンポジウム3	脆弱性骨折に対する創外固定	2-2-18	10105		脆弱性骨折におけるIlizarov創外固定のコツ
3月4日(土)	13:20~14:50	第2会場	パネルディスカッション2	骨延長術の限界と予後	2-2-23	10106		創外固定による骨延長術の限界と予後